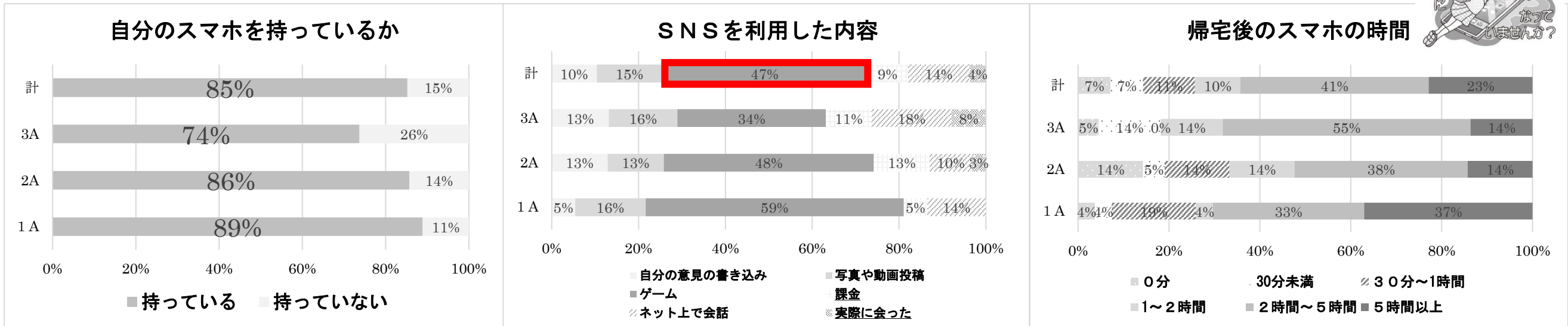


ほけんだより ⑧

夏休みをみなさんはどのように過ごしましたか。暑い中、部活動に取り組んだ人、家や図書館で勉強に取り組んだ人、家の手伝いをした人、体験活動やボランティア活動をした人、貴重な夏休みだったと思います。やり残したことはないでしょうか。そんな中で、スマートフォンによるトラブルに巻き込まれたりはしませんでしたか。もし、そんなことがあった場合は、先生やおうちの人に、早めに相談しましょう。

6月におこなったライフスタイルアンケート調査の中から、今回はスマートフォンについてご紹介します。

全体で、自分のスマートフォンを持っている人は、85%でした。SNSの利用内容の質問では、47%がゲームをするで、課金をしたり、実際にやりとりをした相手と会ったと回答した人もいます。帰宅後のスマートフォンの利用時間は、2時間から5時間が最も多く、5時間以上を合わせると、64%もの人が依存傾向にあることがわかりました。



7月5日（金）に鳴門警察署生活安全課の方を講師に招いて、1年生を対象に、薬物乱用防止教育を開催しました。その中で、SNSの普及による被害について、特にSNSに起因する凶悪な犯罪の被害が増加傾向にあることについてお話していただきました。

フィルタリングは必ず設定しましょう! (保護者の方へ)

 フィルタリングの利用の有無が判明した被害児童のうち約9割が、被害時にフィルタリングを利用していませんでした。フィルタリングには、子どもの年齢等に応じて利用時間を設定したり、アプリケーションの利用を個別に許可または制限することができる機能もあります。また、携帯電話だけでなく、タブレット端末や携帯ゲーム機等の子どもが利用する機器に応じた適切な管理が重要です。子どもに携帯電話機等を持たせる場合は、子どもを犯罪から守るためにも、保護者の皆様が積極的にフィルタリングの設定をしてあげましょう。

親子で見てもらいたいサイトの紹介 (薬物乱用防止教育で紹介された資料より)

- 警察庁 Web サイト子供の性被害対策
被害防止のためのマンガや動画を紹介
http://www.npa.go.jp/policy_area/nocp/prevent/materials.html
- 文部科学省の YouTube 公式サイト
「情報化社会の新たな問題を考えるための教材」の紹介
http://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbAOd2f-4u_Mx-BCn13GywDI

